



でらボラ NAGOYA 通信

2018年 10月号

被災地研修

(8/5、女川竹浦・いのちの石碑にて)



11組、安泉寺住職、野呂美道です。中学生を連れて被災地研修を行いました。彼女たちは、大川小学校跡地、^{ながつら}長面、女川、竹浦、仙台井土宅地、などの被災地を訪れ、貴重な現地学習を経験しました。特に、大川小跡地では、語り部の方に詳細を説明していただき、身に迫るものを感じたようです。(裏面参照)

私たちは、2011年3月11日に発生した東日本大震災を機に、被災地の復興と、人と人とのつながりの回復を願う有志によって結成されたネットワークです。

活動支援のカンパなど、引き続き本会の活動へのご支援、宜しくお願い申し上げます。

募金は「一如さん(毎月12日)」の募金箱、もしくは下記の口座までお振込みください。

【口座名義】真宗大谷派名古屋教区内有志災害ボランティアネットワーク

【ゆうちょ銀行振替口座 口座記号番号】00800-8-174946 【支店名】名古屋橋



■ 9月の募金活動では、下記の通り、支援金をお預かりいたしました。

9月12日の一如さん募金活動…33,061円

あたたかいご支援、誠にありがとうございました!

大川小で防災の大切さ学ぶ

愛西・立田中生ら 被災地訪問



大川小の跡地で震災の被害を学ぶ生徒たち＝宮城県石巻市で（安泉寺提供）

「他の公園での調査に時間がかかった。今後は速やかに対応を徹底する」と陳謝した。（植木創太）

愛西市の立田中の生徒九人が四、六日、東日本大震災の被災地、宮城県石巻市などを見学した。津波で児童と教職員合わせて八十四

人が犠牲になった大川小学校などを訪れ、被害の大きさを知るとともに防災の大切さを学んだ。愛西市三和町の安泉寺が

毎年企画し、三回目。震災直後、物資を送った縁で現地と交流がある野呂美道住職（みちの）が生徒たちに参加を呼び掛け、二、三年の女子生徒が応募した。大川小では津波で被災した語り部の話を聞き、その後、女川町で仮設住宅の跡地を見学した。

三年の松平ひよりさん（ひ）は「大川小は渡り廊下がひしゃげるなど被害がすごかった。避難訓練の大切さを知り、地域全体でやったほうがいいと思った」と話した。（清水裕介）

バウンドテニス 体験会参加して

江南で12日

江南市バウンドテニス協会は、十二日に同市高屋町の体育館「KITXアリーナ（市スポーツセンター）」であるバウンドテニスの体験会の参加者を募集してい

その後、中学生たちは、一昨年行った先輩たちとも協力し合い、自分達が住む地域のハザードマップ作りを計画しました。今まで、多くの大人たちを被災地に連れて行きましたが、このような発想をする人は残念ながらいませんでした。私すらも考えていませんでした。若い子たちの発想の素晴らしさに脱帽し、大人も最大限支援すべきだと考えました。

私たちの住む愛西市は、市民に還元できる活動をする市民団体に補助金を出して応援する制度があります。彼女たちはマップ作りの計画を発表して審査を受け、見事パスしました。今後は月一回集まって、愛西市各地にマップ作りを広めてゆく予定です。

地域のハザードマップはより具体的なものを目指します。液状化の心配な場所、避難経路、一次避難と、二次避難の場所の特定、その他詳細な情報を書き込んで、A1判で各戸配布します。それをもとに避難訓練を促し、日ごろの防災意識を高めます。

でらボラ NAGOYA 会員 募集中！

【入会資格】不要です

【会費】不要です(募金活動にご協力お願いします)

【申込方法】来月12日の「一如さん」の募金スタッフにお声かけください

【問い合わせ】mail:derabora758@gmail.com